

日本共産党 現有6議席

消費税10%増税ストップ! 新しい区政で、3つのまもる、実現へ全力

2019年4月 中野区議会議員選挙結果について 日本共産党中野地区委員会

4月21日投票でおこなわれた区議会議員選挙で、日本共産党は現職6人、元職1人を擁立し、たたかいました。42議席に60人の多数激戦のもと、6人が当選、現有6議席を維持しました。得票数は14,592票(前回16,647票)、得票率13.56%(前回16.11%)で、得票数、率とも前回選挙時より後退しました。

自民党は17人立候補し8人が落選、改選時3議席減。公明党は前回より1議席を減らした8人が立候補し全員当選。立憲民主党は8人が立候補し全員当選、2議席増でした。自民党・公明党は合計17議席となり過半数以下となりました。

今回の選挙は参議院選挙の前哨戦として各党・候補がしのぎをけずり、安倍政権の暴走を許すのかどうか問われました。また、区政では、昨年6月から始まった、酒井新区政を区民参加で前へ進めるのか、それとも前区政の路線にしがみつく自民党・公明党をゆるすのか問われました。とりわけ、3月議会で新区長が提案した、区民の願いである平和の森公園の草地ひろばを守る再整備計画見直し案を自民党・公明党が否決したことは、その象徴的な争点でした。

日本共産党は消費税10%増税ストップ、高すぎる国保料問題値下げなどをおこなうとともに、区政では「子どもをまもる、くらしをまもる、まちをまもる」3つのまもる実現、「平和の森公園の草地ひろばを守る」などを掲げ奮闘しました。前区政時代から、区民の声をブレずに貫いてきた姿勢は、昨年の区長選挙など市民と野党の共同の運動などで結び付いた方々から多くの声援をいただきました。

日本共産党は、この間よせられた区民の願いにこたえ、公約の実現をめざし、ひきつづき全力をつくす決意です。

主な会派単位の選挙結果

会派名	改選	候補	当選
共産党	6	7	6
自民党	12	17	9
立憲民主党	6	8	8
公明党	9	8	8
都ファ	2	2	2
ネット	1	1	0
国民民主党	0	1	0
諸派	5	16	9

候補者名	今回	順位	前回
当 羽鳥だいすけ	現 1,840	32位	2,561
当 長沢和彦	現 1,674	37位	3,397
当 小杉一男	現 1,779	34位	1,934
当 浦野さとみ	元 4,262	1位	2,987
当 来住和行	現 2,190	17位	2,651
当 いさ哲郎	現 1,556	41位	1,569
当 広川まさのり	現 1,291	48位	1,548
総得票数	14,592		16,647
得票率	13.56%		16.11%